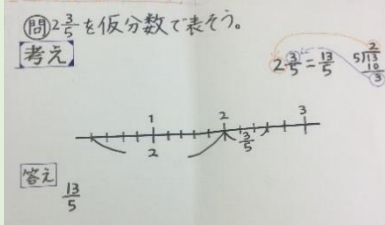

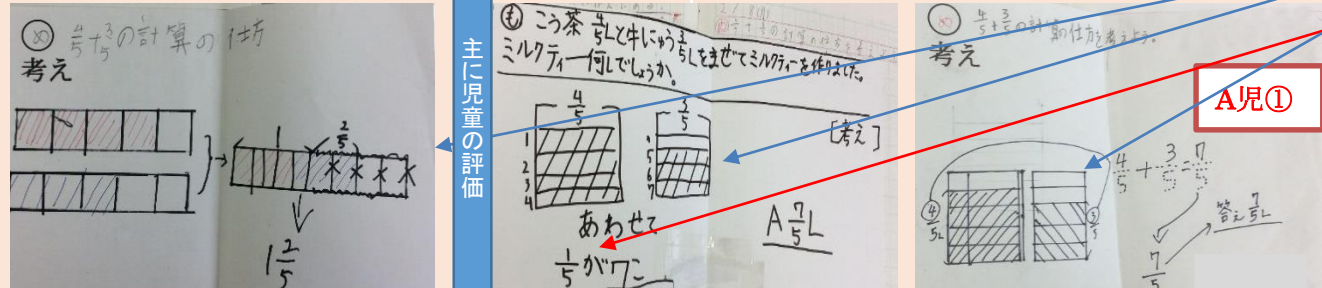


【例】4年生算数科 「分数の大きさ」とし算、ひき算」 (A案)

単元の評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①数直線に示された分数を観察し、表し方が違っていても大きさの等しい分数があることに気付き、見つけることができる。 ②数直線や図を用いて、分数の大きさを表すことができる。 ③真分数、仮分数、帯分数の意味について理解している。 ④1より大きい分数を仮分数でも帯分数でも表すことができる。 ⑤同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。	分数の大きさを、数直線や図などで表したり、分数が表された数直線や図を読み取ったりして、分数の大きさについて判断したり表現したりしている。 同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を、日常生活における場面や単位分数の個数に着目して考えている。	1より小さい分数の意味をもとにして、1より大きい分数の意味や、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について考えようとしている。

単元計画

時	学習内容	評価規準	評価の方法
1	1より大きい分数の表し方を知る	【知③】	【練習問題】真分数、仮分数、帯分数の意味について理解しているか確認する。
2	帯分数を仮分数で仮分数を帯分数で表す	【知④】	【練習問題】1より大きい分数を仮分数でも帯分数でも表すことができているか確認する
3	仮分数と帯分数の大きさを比較する	【知②】	【記述分析・発言・練習問題】数直線や図を用いて、分数の大きさを表すことができているかワークシートや練習問題から確認する。 
4	表し方の違う大きさの等しい分数があることを知る	【知①】	【記述分析・発言・練習問題】数直線に示された分数を観察し、表し方が違っていても大きさの等しい分数があることに気付き、見つけることができているか、ワークシートや練習問題から確認する。
5	同分母の分数の加法の計算の仕方を考える	【知・技】 	【記述分析・ふり返り】同分母の加法の計算の仕方を考える場面での数直線や図、単位分数の個数などの既習事項を用いているかをワークシートやふり返りから見出し、評価する。 

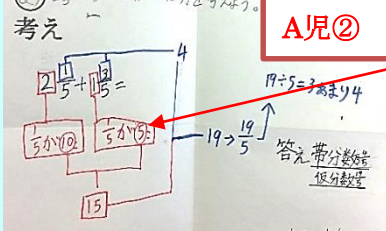
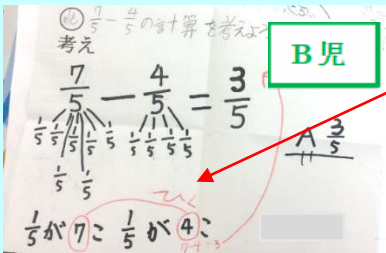
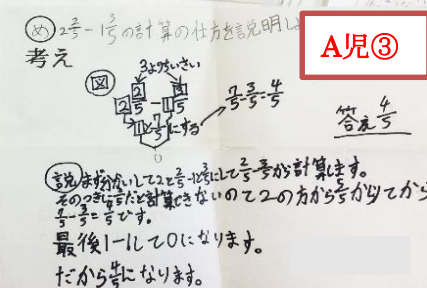
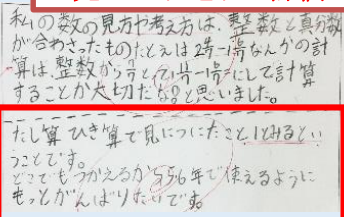
主に授業改善のための評価

主に児童の評価

A児①

A児ふり返り

② 大切な考え方と思、たのはたどえは言か、なんかい、う考え方ですなぜならしつもんされたときい、やすいからです。 大田 420732 (2017/2017-2018)

時	学習内容	評価規準	評価の方法
6	同分母の帯分数の加法の計算の仕方を考える	【知識・技能】 ※以降補完的に評価していく	<p>【記述分析・ふり返り】同分母の加法の計算の仕方を考える場面で数直線や図、単位分数の個数などの既習事項を用いているかをワークシートやふり返りから見い出し、評価する。</p>  <p>A児②</p> <p>ここまでのA児の見取り【知識・技能】 1時間目から4時間目までの学習と5時間目の友達の手書きより単位分数の個数に着目することを使えばよいことに気づき、帯分数の加法の計算の仕方を考える時に活用している。</p>
7	同分母の分数の減法の計算の仕方を考える	【思・判・表】 ※(知・技)	<p>【記述分析・ふり返り】同分母の計算の仕方を考える場面で単位分数の個数などに着目して考えているかを評価する。</p>  <p>B児</p> <p>ここまでのB児の見取り【知識・技能】 5時間目や6時間目の友達の手書きより単位分数の個数に着目することを使えばよいことに気づき、減法の計算の仕方を考える時に活用している。</p>
8	同分母の帯分数の減法の計算の仕方を考える	【思・判・表】 ※(知・技)	<p>【記述分析・ふり返り】同分母の計算の仕方を考える場面で単位分数の個数などに着目して考えているかを評価する。</p>  <p>A児③</p>
9	学習のふり返りをする	<p>※パフォーマンス課題 → 別紙①</p>	<p>【ふり返り等】1より小さい分数の意味をもとにして、1より大きい分数の意味や、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について考えようとしているかをこれまでの学習の記述やふり返りを基に見だし評価する。</p> <p>A児のふり返りと評価</p>  <p>【知識・技能A】テープ図や数直線図、単位分数など複数の既習事項を使って説明を考えたり、帯分数を分解して他の分数とみる見方を使って計算方法を考えたりしている。 【思考・判断・表現A】既習事項を使って複数の考えを思考し、計算の種類に応じて適した計算の仕方を判断して表現している。 【主】自分の見いだした方法にとらわれず、よりよい方法を使ったり組み合わせたりしながら学びの調整を繰り返ししようとする姿が見られた。</p>

主に児童の評価

